

2024年10月28日

News Release

Hyundai Motor とトヨタ自動車、モータースポーツ文化を推進する「Hyundai N x TOYOTA GAZOO Racing Festival」開催

- Hyundai Motor とトヨタ自動車が初の「Hyundai N x TOYOTA GAZOO Racing Festival」を韓国で開催し、モータースポーツ文化を推進
- Hyundai Motor Group の鄭義宣会長とトヨタの豊田章男会長がダイナミックなショーランに積極的に参加
- フェスティバルには、Hyundai の IONIQ 5 N Drift Spec やトヨタの GR YARIS Rally 1 HYBRID など、両社の高性能車が登場
- Hyundai Motor は、過去 20 年以上にわたる取り組みを基に、本フェスティバルを通じて韓国のモータースポーツ文化をさらに発展させていく



ソウル、2024年10月27日発表-Hyundai Motor Company（以下、Hyundai）とトヨタ自動車（以下、トヨタ）が、韓国の龍仁（ヨンイン）スピードウェイで初の「Hyundai N x TOYOTA GAZOO Racing Festival（以下、フェスティバル）」を成功裏に開催しました。

世界ラリー選手権（WRC）の参加者である Hyundai N と TOYOTA GAZOO Racing が手を組み、両社の高性能量産車やレーシングカーを展示しました。完売となった本フェスティバルは、韓国のモータースポーツ文化を高め、お客様との関わりを深めるという両社の共通の取り組みを強調するものとなりました。

Hyundai Motor Group の鄭義宣（チョン・ウィソン）会長とトヨタの豊田章男会長は本フェスティバルに積極的に参加しました。観客の拍手が鳴り響く中、鄭会長は Yaris WRC を操る豊田会長と一緒に、モリソウならではのドーナツターンを含む強烈なパフォーマンス走行を披露しました。パフォーマンス走行後、2人は一緒にステージに上がり、近くにいたファンに感謝の言葉を述べ、握手を交わして感想を語りました。



鄭会長はこのように語りました。「Hyundai の高性能ブランド“N”を通じて、すべての車ファンの皆様に感動をお届けし、満足していただけるよう尽力しています。より多くの方々がドライビングの愉しさを味わえるよう、トヨタと共にモータースポーツでも前進し続けます。今年初めに豊田章男会長とお会いした際、私たちはモータースポーツに対する共通の情熱を見出し、その結果としてこのイベントを開催できたことを大変嬉しく思います。豊田会長は自動車業界で私が深く尊敬する方であり、本日ここで一緒にいられることを光栄に思います。」

また、トヨタの豊田会長は、「サランヘヨ！」と韓国語で愛していますという意味の挨拶をしたのち、「今年初めに鄭会長と日本でお会いした際にこの話で盛り上がり、なんと10か月後にこのようなイベントの開催を実現できました。イベントの実現をサポートしてくださった多くの方々に心から感謝しています。トヨタとHyundai が一緒に手を取り合って、より良い社会、そしてモビリティの未来をつくっていききたいと思います」と語りました。



二人の会長によるパフォーマンス走行の後、Hyundai N は、i20 N Rally 1 Hybrid や i20 N Rally 2 の試合車両を含め、IONIQ 5 N、Elantra N、そして IONIQ 5 N Drift Spec 等、Hyundai の高性能ブランド「N」のラインアップを紹介しました。

Hyundai N のショーランドドライバーは、2024 年 WRC ドライバー選手権をリードしているティエリー・ヌービルを含め、ダニ・ソルド、アンドレアス・ミケルセン、そして 2022 World Touring Car Cup Champion のミケル・アスコナが参加しました。

トヨタからは、GR YARIS Rally 1 HYBRID、GR Yaris Rally2、GR Supra、GR86 といった高性能ラインアップでショーランに参加しました。また、トヨタの WRC ドライバー、勝田貴元、TOYOTA GAZOO Racing World Rally Team 監督のヤリ-マティ・ラトバラ、そして日本ラリー選手権で 9 度のチャンピオンに輝き、勝田貴元の父でもある勝田範彦が登場しました。

フェスティバルでは、参加者が直接体験できるさまざまなプログラムが用意されました。その一つが 30 名の Hyundai N のオーナーと 30 名の TOYOTA GR オーナーがご自身の高性能自動車を龍仁スピードウェイで運転できるトラックデーイベントになります。これにより参加者はプロ仕様のサーキットで愛車の性能を直接体感することができました。

他の没入型プログラムとしては、「WRC タクシー」があり、ここでは来場者がフルスペックの WRC ラリーカーに乗り込み、実際のラリースタイルの走行を近くで体感できるというチャンスです。そして、「WRC サーキットタクシー」では、両社のドライバーが登場（マスタートライバーのモリソウを含む）し、来場者を同乗させ、トラックでのハイスピードツアーを実施し、WRC 車両の性能を余すところなく披露しました。

さらに、「ジムカーナ競技」も開催され、Hyundai N と TOYOTA GAZOO Racing のプロドライバーが来場者とチームを組み、Hyundai の Avante N とトヨタの GR86 でレースを行いました。また、

「Show&Shine」コーナーでは、参加者のカスタマイズされた車両が展示され、両ブランドを取り巻くチューニング文化を表していました。

イベントの締めくくりには、参加者が運転する 66 台の Hyundai N と TOYOTA GAZOO Racing の車両による「パレードラップ」が行われ、鄭会長と豊田会長が先頭を務めました。また、Hyundai とトヨタは、各ブランドのブースでそれぞれの次世代高性能車両を披露しました。

Hyundai N のブースでは、2 つの「Rolling Lab」が展示されました。1 つは、Hyundai N の新しい高性能ビジョンを体現する新しいテスト車両「RN24」、もう 1 つは水素燃料電池ハイブリッド「N Vision 74」で、Hyundai が水素技術の革新のため力を注いでいることを示します。また、バイクスピークを制した「IONIQ 5 N TA Spec」やファンに人気の「Elantra N」の展示もありました。

トヨタのブースでは、いくつかの革新的なモデルが展示されました。展示車両には、ORC ROOKIE Corolla H2 concept やトヨタ スプリンター トレノをベースにし、マニュアルトランスミッションがついている水素内燃エンジン車「AE86 H2 Concept」等が挙げられます。さらに、高性能ラインナップの GR Supra や GR86 も展示されました。

他のアトラクションとして、「WRC ゲームゾーン」があり、来場者はレーシングシミュレーターを使用して実際 Hyundai N や TOYOTA GAZOO Racing の車両を運転するような体験ができました。また、「レーシングカーサービスパーク」もあり、WRC ステージと同様に、イベントに備えてレース用競技車両の整備作業を間近で見学することも可能でした。

本フェスティバルで、Hyundai とトヨタは、チケット売上の全額を大韓自動車競走協会（Korea Automobile Racing Association/KARA）に寄付し、自動車文化の発展やモータースポーツの普及に貢献すると発表しました。

Hyundai はモータースポーツ文化の普及のための取り組みを強化していきます



「Hyundai N x TOYOTA GAZOO Racing フェスティバル」は、韓国におけるモータースポーツ文化の発展に向けた Hyundai の取り組みの一環で、最新のものです。過去 20 年以上にわたり、Hyundai は「Hyundai Click Speed Festival」（2003-2010 年）、「Korea Speed Festival」（2011-2018 年）、そして「Hyundai N Festival」（2019 年から現在まで）を開催してきました。

さらに、2012 年に WRC への再参戦を発表して以来、Hyundai は多くのモータースポーツイベントに参加し、高性能車両のサスペンションやブレーキシステムといった革新的な技術を開発し、経験を積んできました。

2015 年には、高性能ブランド「Hyundai N」を立ち上げ、モータースポーツに基づく技術を装備した高性能モデルを世に出しました。Hyundai の N モデルは、ドライビングの喜びをお客様に提供し、高性能車両の技術を一般車両に広く適用することで、Hyundai 車の全体的な技術競争力を強化し続けています。

Hyundai は、このアプローチを技術革新に応用し、「IONIQ 5 N」などの車両を通じて、高性能で環境に優しい新しい車両分野を切り開き、電動化時代におけるドライビングの楽しさを提供しています。

今後、Hyundai ラリーチームと TOYOTA GAZOO Racing ラリーチームは、FIA 世界ラリー選手権の最終戦である「FIA 世界ラリー選手権 フォーラムエイト・ラリージャパン 2024」において両チームのダイナミックなパフォーマンスを披露する予定です。このイベントは、日本の愛知県と岐阜県で、11 月 21 日（木）から 11 月 24 日（日）に開催されます。

Hyundai (ヒョンデ) について

1967 年に設立された Hyundai Motor Company は、世界 200 カ国以上で事業を展開し、12 万人以上の従業員を雇用しており、世界中のモビリティに関する現実的な課題に取り組んでいます。ブランドビジョンである「Progress for Humanity」に基づき、Hyundai Motor はスマートモビリティ・ソリューション・プロバイダーへの転換を加速しています。Hyundai は、革新的なモビリティソリューションを実現するために、ロボティクスや Advanced Air Mobility (AAM) などの先進技術に投資し、未来のモビリティサービスを導入するためのオープンイノベーションを追求しています。世界の持続可能な未来のために、Hyundai Motor は業界をリードする水素燃料電池と電気自動車技術を搭載したゼロエミッション車を導入するための努力を続けていきます。

Hyundai Motor Company とその製品に関するより詳しい情報は、以下をご覧ください。
<https://www.hyundai.com/worldwide/en/>

【本件に関するお問い合わせ先】

Hyundai Mobility Japan
MAIL: press_japan@hyundaimobility.jp

Hyundai Mobility Japan PR 事務局（株式会社サニーサイドアップ内）
担当：山口（080-7624-3656）、太田（080-3212-7524）
TEL：03-6894-3201 / MAIL：hyundai_pr@ssu.co.jp